

避難シミュレーション訓練



災害時の避難で起こる困ったことを
疑似体験する訓練です

- 「自分の命は自分で守る」基本原則です
- 避難時に起こる困難は...
- 「自助」「共助」の難しさ（ジレンマ）...
- 今までの経験を活かしますか...



巨大地震が発生しました！

ここは危険！

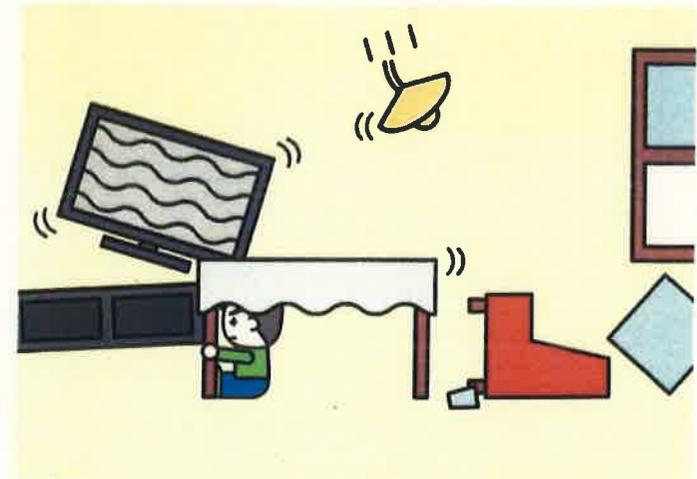
すぐ！避難してください！！

☆ **無事に自宅から外へ...**

☆ **負傷したが、かろうじて自宅から外へ...**

☆ **けが人と遭遇...**

☆ **津波が迫ってくる...**





避難シミュレーションの内容

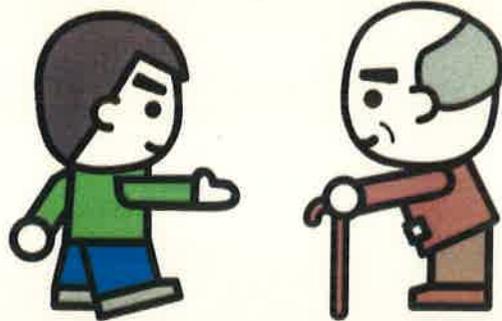
- 既定のコースを5人から10人を一組として、制限時間内に通過してゴールを目指します
- 制限時間の設定は、津波がまさに迫ってきている想定
(時間設定をしなくても、通過を行うだけでも経験になります)
- グループではあるが、行動は各自の判断です
- 危険と感じたら各自の設定を解く
- コースの外に出ない

避難者の条件（7人の場合）

健常者の設定 4人
そのまま参加



片足を骨折 1人
片足を使わず参加



片腕を骨折
片腕を負傷 1人
両腕を使わず参加



両目を負傷 1人
目隠しをして参加

① 避難の時は困難でしたか

- ★ 一人で避難（生命の危機がある）...
- ★ 負傷をして避難は...
- ★ けが人と遭遇して...



② 避難の結果はどうでしたか

- ★ どうなりましたか
- ★ どう行動すべきですか
- ★ 何か気づきましたか



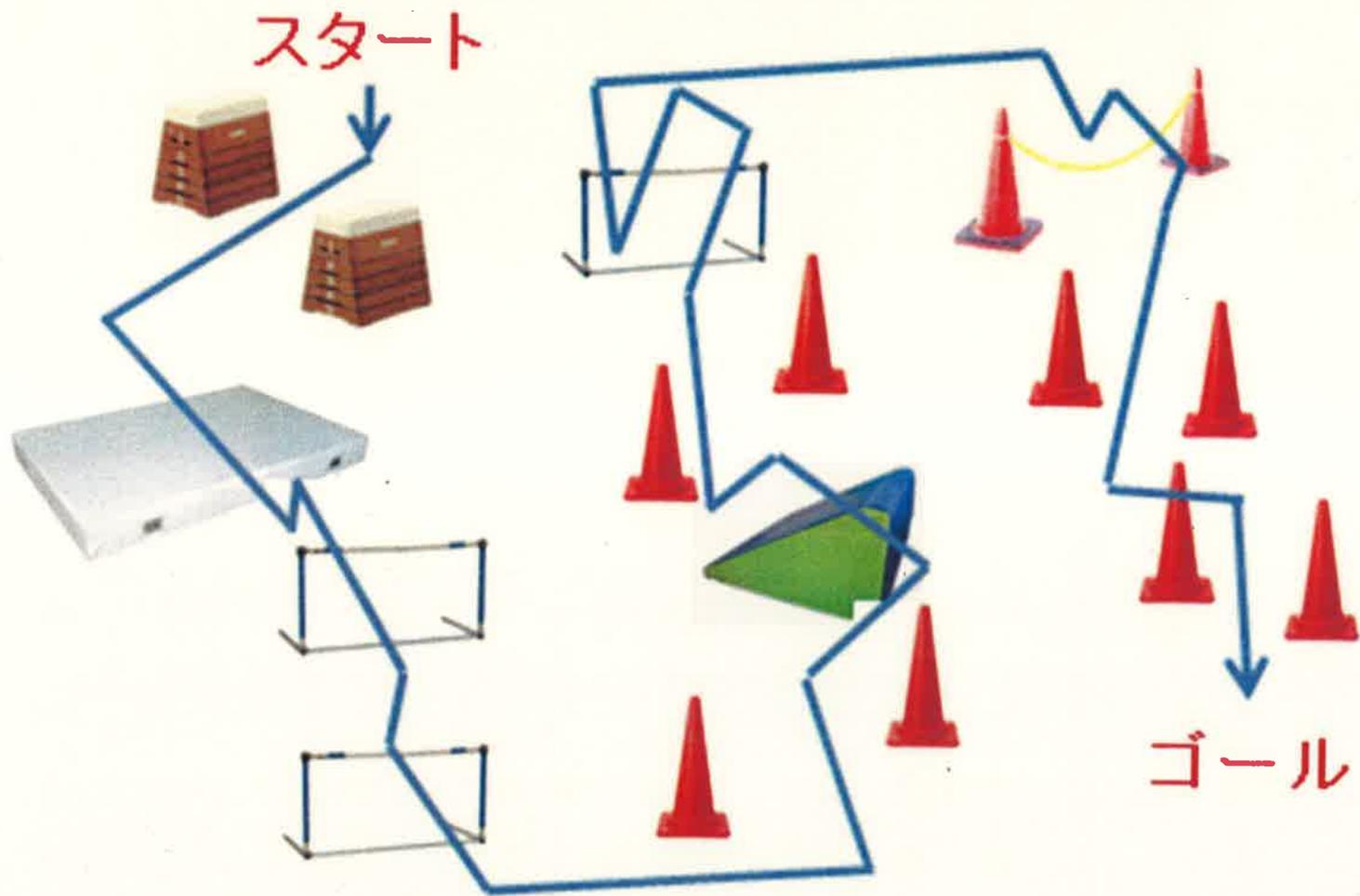
けが防止やスムーズな避難のために

- 家具類が直接当たってけがをする
- つまづいて転倒やガラスを踏んだりする
- 家具類が避難通路をふさぐ
- ストーブの転倒などによる出火の危険をもたらす

☆ 地震でけがをした原因の約30%～50%の人は、家具類の転倒・落下・移動によるものです

☆必ず、家具の転倒防止が必要です！

会場設定



いざ、スタート

